

## (4) 5歳児

### 5歳児カリキュラム

#### <発達の様子>

- 挑戦意欲が増し、自分なりに目標をもち、あきらめずに、根気よく取り組んだり、目標を設定したり、意欲的に活動に取り組んだりなど、心身の充実感、達成感を味わうようになる。
- 共通の目的をもって友達と協力したり、工夫したりしながら自己発揮し、遊びを進展させる中で自立心が高まってくる。
- 友達とイメージを共有し、考えたことを伝え合いながら、遊びや生活を自分たちで進めるようになる。

		I期 (4・5月)	II期 (6・7・8月)
期のねらい		○進級したことを喜び、指導者や友達と遊びや生活を楽しむ ○新しい環境に慣れ、安定した気持ちで過ごす	○様々な人、物、事等の環境に関わり、自分なりの力を発揮して、積極的に遊ぶ
子どもの育ち	知	○指導者や友達の話聞き、経験したことや思いを相手に分かるように伝える ○自ら触れ、試したり、工夫したりして、砂、土、水等の特性に関心をもって関わる ○様々な経験を通して、考えたことや感じたことを自分なりに、また友達と一緒に表現する	○身近な自然環境や事象に関心を持ち、探したり、調べたりして遊ぶ
	徳	○新入児や年下の友達の世話を進んでする ○集団生活のきまりの大切さを分かり、自ら進んで守る ○身近な動植物の世話をし、親しみや愛情をもつ ○生活を通して、いろいろな国や文化に親しみをもつ	○身近にいる様々な人との関わりを通して親しみを持ち、相手の気持ちに気付く
	体	○いろいろな運動遊びに関心を持ち、進んで体を動かす ○規則正しい生活や健康な生活に関心を持ち、大切さに気付く	○存分に水に関わり、全身で水の感触を味わって遊ぶ
教育的意図をもった働きかけ	知	言語	・思いや考えを伝え合う機会をつくり、自分の考えを話したり、友達の話の聞いたりする楽しさや大切さに気付くようにする ・いろいろな絵本や物語に親しめるように環境を整え、内容や言葉、文字等への関心が高まるようにする
		思考	・様々な場面で色、形、数量、標識や文字等に関心を持ち、試しながら遊ぶ機会をつくる ・遊びや生活の中で、日時・曜日等の感覚が意識できるようにし、見通しをもって生活できる喜びを味わえるようにする ・身近な物の特性に気づき、遊びに生かしたり、取り入れたり、調べたりできるようにする ・動植物の生長の様子や変化等、自然事象への関心が高まるようにする
		創造	・工夫する、試すなどを楽しみながら、意欲的にかいたり、つくったりできるようにする ・友達と音やリズムを合わせる心地よさに気づき、一緒に演奏する楽しさが味わえるように、音楽に関わる機会を増やしたり、工夫し合っている姿を認めたりする ・イメージを広げ、なりきって遊べるように、イメージに合う環境を整えたり、それぞれの表現を認めたりする
	徳	人と関わる力	・いろいろな友達に関わり、5歳児としての自信や自覚をもてるようにする ・自分の考えを相手に伝えたり、相手の思いを受け入れたりする大切さに気付くようにする ・国旗、国歌に親しめるようにする
		規範意識	・集団生活のきまりを守る大切さを再確認できるように、機会を捉えて知らせる ・自分たちで遊びを進める楽しさを味わえるように、遊びのルールを友達と確認したり、考えたりできるようにする ・公共のマナーや交通安全が守れるように機会を捉えて、気付かせる
		生命の尊重	・春から夏の自然に関心を持ち、自然の変化に気付いたり、栽培物の生長や収穫の喜びを味わったりできるようにする ・身近な小動物との関わりを通して、命の大切さに気付くようにする ・誕生の喜びや、祝う気持ちが感じられるようにする
	体	運動	・いろいろな運動遊びへの関心が高まるよう、ルールのある活動を取り入れたり、遊具等の環境を工夫したりする ・全身で水の感触を味わえるようにし、水の抵抗や浮力を体感できるようにする
		基本的な生活習慣	・手洗い、うがい、汗の始末、衣服の調節等について再確認し、進んで取り組むように知らせる ・規則正しい生活や健康な生活の大切さを知らせ、意識して過ごせるようにする ・発育測定や健康診断等を通して、自分の体や成長に関心をもてるようにする
		健康・安全	・遊具、用具の安全な使い方を再確認し、身に付くようにする ・いろいろな水遊びにおける約束を再確認し、安全に遊べるようにする ・避難訓練を行い、災害時の適切な行動の仕方を再確認させ、緊急時に適切に行動できるようにする
		食育	・食の大切さを知らせ、マナーを守って友達と一緒に食べる楽しさを味わえるようにする ・年間の行事を通して伝統的な日本の食文化を知らせる ・食べる意欲が高まるように、旬の食べ物や身近な食材の栄養などについて知らせるようにする ・収穫を通して様々な恵みに感謝の気持ちがもてるようにする



<家庭との連携>

- ・保護者とともに、子どもの成長を喜び、家庭でも就学に期待をもって生活できるように励みます。
- ・子育て等に関する相談、助言に当たっては、保護者の気持ちを受け止め、相互の信頼関係を基本に、保護者一人ひとりの思いを尊重する。
- ・生活の中で子どもと一緒に考えたり調べたり、体を動かしたりするような関わり方が大切であることを知らせる。
- ・基本的な生活習慣の確立や家庭での楽しい食事が小学校以降の生活や学力向上に影響が大きいことを知らせる。

Ⅲ期 (9・10月)	Ⅳ期 (11・12月)	Ⅴ期 (1・2・3月)
○考えや気持ちを出し合って活動する楽しさを共有する中で、友達との一体感を味わう	○進んで環境に働きかけ、友達と協力したり工夫したりして、活動する充実感を味わう	○友達と共通の目的をもち、活動する中で、充実感や達成感を味わう ○就学への期待を高めながら残りの園所生活を楽しむ
○自分の思いをいろいろな言葉に置き換えたり、文字や数字に関心をもったりして遊ぶ ○絵本や物語に親しみ、指導者や友達と心を通わせるとともに言葉に対する感覚を養う ○友達のいろいろな考えを知り、共感したり受け入れたりしながら、考えを出し合って遊ぶ	○イメージを広げ、心を込めて歌ったり、工夫してつくったりしようとする	○いろいろな環境に関わって考えたり学んだりしたことに自信をもつ
○友達と考えや気持ちを出し合って活動し、一体感を味わって楽しさを共有する ○いろいろな環境に働きかけ、それらの特徴を生かして遊びや生活を工夫する	○必要感をもちながら、ルールをつくったり守ったりして集団で遊ぶ	○友達と共通の目的をもち、考えを出し合ったり話し合ったりして試行錯誤しながら根気よく活動を進め、充実感や達成感を味わい、就学への期待をもつ
○集団的な活動や運動遊びを通してルールを守って、友達と力を合わせる楽しさを味わう	○自らの目標をもったり、友達と力を合わせて取り組む	○挑戦したり目標をもったりして、戸外で存分に体を動かす ○共通の目標に向かって、集団での活動を楽しみ、充実感や達成感を味わう
・相手の気持ちを考え、聞いたり話したりするようにしながら、伝え合いを通して、言語的コミュニケーションの大切さに気付くようにする ・生活や活動の中で、文字や数字等に関心もてるような環境を工夫する ・探求心、好奇心が高まるように、物の性質や仕組みや自然の変化、現象等への関心もてる活動を積極的に取り入れる ・広さ、高さ、位置関係、空間等の感覚が養えるように、機会を捉えて、意識付ける内容を遊びに取り入れる ・友達と共通のイメージをもち、遊びに必要な物をかいたりつくったりできるよう、適切に助言する ・様々な方法で表現することを楽しめるよう、環境を工夫する ・心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにして表現する楽しさを味わえるようにする		・絵本や物語を楽しむ中で、友達とイメージを共有し、豊かな言葉や表現を身に付けられるようにする ・数量の増減に関心が高まるようにする ・日常生活での必要感に基づく体験から、数量、図形、空間認識等の感覚を養う ・友達と一緒に表現する充実感を味わえるようにし、自信や意欲をもたせて就学への期待につなげる
・お互いによさを認め合い、考えを出し合ったり、役割を分担したりする活動を積極的に取り入れ、試行錯誤したり友達に支えられたりしながら、やり遂げた達成感が味わえるようにする ・友達と活動する中で、葛藤やつまずきを体験しながら、自分の気持ちを調整し、折り合いが付けられるようにする ・係や当番活動に進んで取り組み、最後まで責任をもってすることの必要感に気付くようにする ・必要なルールを友達と考え合いながら、みんなで決めたことを守るように促す ・よいこと、悪いことに気付き、考えて行動できるように繰り返し知らせる		・就学への期待を膨らませ、集団生活に必要なルールを再確認し、その必要性が分かって守ろうとする気持ちをもたせる
・秋から冬の自然に関心をもち、自然の変化に気付いたり、収穫への期待をもったりできるようにする ・動植物の生長に触れたり、責任をもって世話をしたりする中で、命を大切に育む気持ちをもつ ・一人ひとりが大切な存在であることを伝え、命の尊さに気付くようにする		・春の訪れや生命の息吹を感じられるよう、身近な自然や事象に親しめるようにする
・ルールのある遊びを友達と工夫し、挑戦する楽しさを味わえるようにする	・友達といろいろな遊び方を考え、体を動かす心地よさを存分に味わえるようにする	・自分の力で行動する充実感を感じられるようにする ・体の動きを自分で調整できるようにする ・自分の体の成長を知り、健康な体づくりに関心が持てるようにする
・「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さに気付き、自分で生活リズムを整えられるようにする	・交通ルールや安全な生活について再確認させ、自分で気を付けて行動できるようにする ・かぜ様疾患や感染症等の病気の予防に努めていけるように指導する	・身の回りの安全に関心をもち、気を付けて行動できるようにする ・自分の命を守るために必要な行動を再度知らせる
・自分たちで遊具、用具の準備や片付けをすることで、その特徴や安全な使い方を知ることができるようにする		・いろいろな食べ物や物の役割について関心を深め、学校給食に期待もてるようにする
・収穫を通して様々な恵みに感謝の気持ちをもち、味わって食べるようにする		

< 発達の様 >

- 相手と心を通わせる中で、語彙力や表現力が育ち、友達の思いと自分の思いとの相違に気付き、調整する力が育ってくる。
- これまでの生活経験を生かして、目的をもって取り組んだり、遊びや生活を自分たちでよりよい方向に進めたりしようとする。
- 心を動かす出来事に触れ、イメージを広げ、感性が豊かになる。また、友達とイメージを共有し、共感する中で、自分の思いや考えを様々な方法で表現したり、伝え合ったりするようになる。

		I 期 (4・5月)	II 期 (6・7・8月)
期のねらい		○いろいろな人、物、事等の環境に進んで関わり、自分なりに変化させたり想像したりして遊ぶ ○新しい環境に慣れ、自分なりに生活や遊びを進めようとする	
5歳児ラーニングデザイン 知	言語 (聞く・話す・コミュニケーション・文字等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者や友達との会話を楽しむ機会を多くもち、相手に分かるように話したり、相手の話を聞いたりすることの大切さを知らせる <b>事例 34</b></li> <li>・相手の思いを受け入れたり、共感したりできるように仲立ちをする</li> <li>・挨拶の意味や大切さ、気持ちよさを繰り返し伝え、自分から進んで挨拶するよう習慣付ける</li> <li>・体験や思い、考えを自分なりの言葉で伝える場をつくり、言語的コミュニケーションの楽しさを感じられるようにする</li> <li>・たくさんの絵本の中から見たい本を選ぶように環境を整え、内容や言葉、文字への関心を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本や物語、体験等を通して、豊かなイメージをもち、言葉に対する感覚を身に付けるとともに、その意味や使い方を理解できるように伝える</li> </ul>
	思考 (数量・図形・空間認識・自然科学等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形、色、大きさ、重さ、長さ、数量等に触れ親しむ体験を重ねることで数量や図形等の興味や関心、感覚を養うようにする (数える、1対1対応、対比等) <b>事例 36</b></li> <li>・遊びや生活の中で、日時・曜日等の感覚を意識できるようにし、先の見通しをもって生活する喜びが味わえるようにする</li> <li>・身の回りの物の特性に気付くことができるように繰り返し遊びに生かしたり、自分なりに判断し取り入れたりするようにすすめる</li> <li>・周囲の環境に好奇心をもって関わりながら、発見したり、自分なりに考えたりする機会をつくり、思考の芽生えを育むようにする</li> <li>・身近な自然の変化や栽培物の生長、小動物の変化や様子に興味をもち、よく見たり、自分なりに考えたりできるように環境を整える <b>事例 36</b></li> <li>・動植物の世話を通して、命があることに気付くようにする</li> </ul>	
	創造 (造形・音楽・身体表現等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に試したり、工夫したり、遊びに必要な物をつくったりして、共通の目的が実現できるように環境を整える</li> <li>・友達と一緒に音楽やリズムに合わせて歌ったり、動いたり、合奏したりする楽しさが味わえるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と音を揃える心地よさに気付き、友達と気持ちを合わせ、美しい音色で表現しようとする気持ちがもてるように聴く機会を大切にする <b>事例 37</b></li> </ul>
教育的意図をもった働きかけ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことや思ったこと、経験したこと、イメージしたことを自分なりに様々な方法で表現し、その楽しさが感じられるように受け止める</li> <li>・個々の発想を大事に受け止め、満足感や表現したい意欲につながるように見守る</li> <li>・友達とイメージを共有したり、広げたりして表現できるように関わったり、環境を整えたりする</li> </ul>	

<家庭との連携>

- ・「なぜ」「どうして」等と、不思議に思う気持ちを受け止めながら、子どもが自分なりに考えたり、保護者も一緒に考えたり、調べたりする関わりの大切さを知らせる。
- ・子どもが数量や文字等への関心を示したときに、遊びながら気付く楽しさを大切にしていることを伝えて、家庭でもそれらに親しむ体験や、子どものペースに合わせる接し方を知らせていく。
- ・指導者、保護者等との信頼関係をもとに、一人ひとりの子どもが自発性や探究心等を高め、自信がもてるようにすることや、就学への期待感をもって生活できるように見守り励ます大切さを伝える。

Ⅲ期 (9・10月)	Ⅳ期 (11・12月)	Ⅴ期 (1・2・3月)
○いろいろな人、物、事等の環境に進んで関わり、その特徴を生かして遊びや生活を工夫する		○いろいろな人、物、事等の環境に自ら働きかけ、考えたり、学んだりしたことに自信をもつ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通の話題について話したり、聞いたりできる場をつくり、みんなで話し合いができるようにする <b>事例 42</b></li> <li>・指導者や友達と心を通わせる中で、相手や場面に応じた話し方、相手に分かる言葉を知らせる               <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に内容が伝わるよう、物事を順序立てて話せるように導く</li> </ul> </li> <li>・相手の気持ちを考えながら聞いたり、話したりするようにしながら、伝え合いを通して、言語的コミュニケーションの大切さに気付くようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本や物語の世界を活動に取り入れながらイメージを表現する楽しさを味わえるようにし、豊かな言葉の獲得につなげる</li> <li>・絵本や物語、歌詞等から美しい言葉の響きやリズムカルな言葉等への関心を高め、言葉に対する感覚を養う</li> <li>・言葉遊び(しりとり、頭文字集め等)を十分楽しめる機会をもち、文字への関心が広がるようにする</li> <li>・遊びや生活の中で文字や数字等に関心をもつような環境をつくり、意味を知って取り入れるようにする               <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活での必要感に基づく体験を大切にし、数量、図形、空間認識等の感覚を養う</li> <li>・数量の増減に関心が高まるような活動を繰り返し経験できるようにし、数量の概念の獲得につなげる</li> </ul> </li> <li>・数や図形、標識等への関心もてるよう、遊びに積極的に活用するようにする</li> <li>・広さ、高さ、位置関係、空間等に気付いて行動できるように意識付ける               <ul style="list-style-type: none"> <li>・集めたり分類したりする必要性が感じられる活動を取り入れ、子どもが遊びの中で生かしているように投げかける</li> </ul> </li> <li>・遊びに応じて場や物の使い方を工夫できるように環境を整える</li> <li>・物の性質や仕組みに関心もてるようにし、繰り返し関わることで法則性に気付くようにする <b>事例 42</b></li> <li>・経験したこと(遊び方や素材感など)を生かして遊びの中で必要感をもって活用し、遊びを工夫できるようにする <b>事例 40</b></li> <li>・自然の変化や自然現象に関心をもって、調べたり試したりできるようにし、探究心や好奇心を高める <b>事例 41</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園所の生活を振り返り、心に残った思い出を言葉や絵画等で表現する姿を受け止め、自信をもたせ、就学への期待につなげる</li> <li>・自然物やいろいろな素材の特性や色彩、美しさなどを感じて、様々な方法で表現することを楽しめるように環境を整える</li> <li>・友達と共通のイメージをもって構成を考えたり素材を工夫したりして、遊びに必要な物をかいたりつくったりできるようにする <b>事例 40</b></li> <li>・クラスや学年、全体で歌を歌ったり、リズム遊びをしたりを通して、友達とイメージを共有し、音やリズム、動き等を合わせる心地よさを味わえるようにする</li> <li>・歌詞の意味等を知らせ、イメージを広げながら歌えるようにする               <ul style="list-style-type: none"> <li>・音色やリズム、曲想に気付くようにし、歌ったり合奏したりする姿を受け止め、周囲の子どもに知らせ、全体に広げていく</li> </ul> </li> <li>・行事や日常の活動を通して、自分なりの表現を見てもらう経験を積み重ね、喜びや友達と一緒に表現する充実感を味わえる機会をつくり、自信や意欲が高まるようにする               <ul style="list-style-type: none"> <li>・美しいものや心を動かすできごとに触れたり、絵本や物語に親しみをもったりして、イメージを豊かに表現する楽しさを味わえるようにする</li> <li>・友達とイメージを共有し、動きや言葉等で表現したり、演じたりして遊ぶ楽しさを味わえるようにする</li> </ul> </li> </ul>



< 発達の様相 >

- これまでの体験から、自信や予想、見通しをもつ力が育ち、心身共に力があふれ、意欲が旺盛になる。
- 様々な経験を生かし、創意工夫を重ね、遊びを発展させるなどの活動を積み重ねる中で、達成感を味わいながら自立心が一層高まっていく。
- 相手の気持ちを考えることで、自分の気持ちや行動を調整するようになり、仲間の意思を大切にしようとする。
- 協同の遊びやごっこ遊びを行う中で、遊びのルールを友達と考えたり守ったりするようになってくる。
- 身近な動植物に触れたり、自分の誕生を祝ってもらったりする中で、命の尊さに気付くようになってくる。

		I 期 (4・5月)	II 期 (6・7・8月)
5歳児 ラーニング デザイン 徳	期のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進級したことを喜び、友達や指導者と園所等での生活を楽しむ</li> <li>○安定した関係の中で、自分なりの力を発揮して積極的に遊ぶ</li> <li>○友達と遊びを進める中で、必要な約束を考えたり、守ったりして遊ぶ</li> </ul>	
	人と関わる力 (自立心・思いやりの心 協同性・道徳心等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級した喜びを味わい、自信がもてるように、自分で考え行動する姿を認めたりその姿を友達に知らせたりして、お互いのよさを認め合う場をつくる</li> <li>・親しみの気持ちをもっているいろいろな友達に関わり、5歳児としての喜びや自覚をもてるようにする <b>事例34</b></li> <li>・挨拶の意味や気持ちよさを伝え、自分から進んで挨拶ができるようにする</li> <li>・子どもとともに考えながら、自分の思いや考えを相手に分かるように伝えたり、相手の思いや考えを受け入れたりする大切さに気付くようにする</li> <li>・地域の人々や小学生との関わりの機会をつくることで、人とのつながりを感じ、喜びや親しみの気持ちをもてるようにする</li> <li>・年下の友達との関わりを通して、相手を気遣ったり、相手の思いに気付いたりできるようにする</li> <li>・国旗・国歌に関心をもち、親しめるような機会をつくり、いろいろな国やその文化にも関心がもてるようにする</li> </ul>	
	規範意識 (社会生活の ルールを守る心等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活のきまりやルールを守ることの大切さを再確認し、自分から進んで守って生活していこうとする意欲を育てていく</li> <li>・遊具や用具等を安全に使い、使い終わったら元の場所に進んで片付けるように繰り返し伝える</li> <li>・自分の持ち物や、共有の遊具や用具を大切に扱う姿を認める</li> <li>・遊びのルールを友達と確認し合い、進んで守ったり自分たちでルールを作ったりしながら、遊びが進められるようにする</li> <li>・交通ルールや公共のマナーを進んで守ることができるように、遠足や散歩等の機会に再確認する</li> </ul>	
生命の尊重 (命の大切さを 感じる心等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春から夏の身近な自然に親しみ、自然の変化、美しさ、不思議さ、生長や収穫の喜び等を感じられるようにする</li> <li>・身近な動植物に親しみの気持ちをもったり、命の大切さに気付いたりできるように、一緒に遊んだり、関わったり、世話をしたりする経験を大切に</li> <li>・誕生日を祝ってもらったり、友達の誕生日を祝ったりする中で、『誕生』の喜びを味わえるようにし、一人ひとりが大切な存在であることを伝えていく</li> </ul>		

## &lt;家庭との連携&gt;

- ・遊びや生活の中でのいざこざや葛藤を通して相手の気持ちを知ることが、人と関わる力を培うために必要な過程であることを、具体例をあげながら繰り返し伝え、理解が得られるようにする。
- ・子どもの様子や指導していることをその都度伝えながら、保護者との信頼関係を深め、保護者同士のつながりももてるように働きかける。
- ・一人ひとりの状況を踏まえ、園所と家庭が互いに、子どもの発達にとって望ましいと思ったことを伝え合い、考え合うようにし、小学校へつないでいく。
- ・保護者自身が子育てを振り返る機会や子どもの成長の喜びを感じられる機会をつくる。
- ・就学に向けて保護者が感じる戸惑いや不安を受け止め、共に考え保護者の気持ちをくみ取りながら話し合いを重ねて、安心感がもてるようにする。

Ⅲ期 (9・10月)	Ⅳ期 (11・12月)	Ⅴ期 (1・2・3月)
○友達と考えや気持ちを出し合って活動しながら、一体感を味わい、楽しさを共有する	○友達と協力したり、工夫したりして遊びを進め、気持ちを合わせて遊ぶ楽しさを味わう	○友達と共通の目的をもち、考え合ったり話し合ったりして活動を進め、充実感や達成感を味わい、自信をもつ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・係や当番活動等を通して自分の役割を知り、人の役に立つ喜びを感じながら最後までやり遂げられるよう励ます</li> <li>・一人ひとりが互いによさを認め合えるように、考えを出し合ったり、役割を分担したりする活動を積極的に取り入れる</li> <li>・試行錯誤したり指導者や友達に支えられたりしながら達成感をもってやり遂げられるようにする</li> <li>・クラス全体で活動する機会を通して、連帯感、一体感を感じ、友達とのつながりの大切さに気付くことができるようにする</li> <li>・困ったときや思いがぶつかり合ったときを捉え、友達と考えを出し合い、葛藤やつまずきを体験しながら互いの気持ちを理解し、折り合いを付けるような仲立ちをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園所内で、当番活動の仕方を伝える機会をもつことで、成長の喜びが感じられるようにし、子ども同士の関係をつなぐ</li> <li>・園所と小学校が交流する機会をもち、交流を通して小学校の児童に親しみや憧れの気持ちをもち、安心して就学できるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学への不安感を受け止め、困った時の具体的な方法等を知らせ、安心して就学できるようにする</li> <li>・自分たちの成長を喜び、お世話になった人々への感謝の気持ちをもつような機会をつくる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高年齢者をはじめ、地域の身近な人と触れ合う中で、様々な関わり方に気づき、地域社会に親しみがもてるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園所内で、当番活動の仕方を伝える機会をもつことで、成長の喜びが感じられるようにし、子ども同士の関係をつなぐ</li> <li>・園所と小学校が交流する機会をもち、交流を通して小学校の児童に親しみや憧れの気持ちをもち、安心して就学できるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学への不安感を受け止め、困った時の具体的な方法等を知らせ、安心して就学できるようにする</li> <li>・自分たちの成長を喜び、お世話になった人々への感謝の気持ちをもつような機会をつくる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いを主張したり気持ちに折り合いを付ける体験をしながら、きまりをつくらたり守ったりできるようにする <b>事例 38</b> <b>事例 39</b></li> <li>・子ども一人ひとりの理解を深めながら、してよいこと、悪いことに自分で気づき考えながら行動できるように見守ったり繰り返し伝えたりする</li> <li>・次年度に向けて生活のきまりやルールを年下の友達に伝えることで、再確認し進んで守ろうとする意識を高める</li> <li>・進んで自分たちの生活の場を整えようとする姿を認め周囲の子どもたちに伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学に向け、集団生活に必要なきまりや、交通ルールを再確認し、きまりやルールを守る必要性が分かり、進んで守ろうとする気持ちももてるようにする</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋から冬の自然の変化や美しさに気付くよう、自然に触れる機会を計画的にもつ</li> <li>・動植物に触れる体験を通して、好奇心や探究心をもち、愛情や畏敬の念につながるようにする</li> <li>・食育活動を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちを育てる</li> <li>・ゴミの分別をしたり身近な物を大切にしたりして、地球環境に関心ももてるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の変化や命の息吹や、春の訪れを感じとれるような機会をもつ</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・機会を捉え、一人ひとりがかけがえのない存在であることを伝え、生命を大切にする気持ちももてるようにする</li> </ul>		

< 発達の姿 >

- 運動能力に応じて繰り返し取り組み、体を動かす楽しさを体感することで、挑戦意欲が増すようになる。
- 友達と思いを出し合い、協力したり工夫したりして、夢中になって活動を展開するようになる。
- 遊びや生活に見通しをもち、健康な生活に必要な習慣や態度が身に付き、自分の体の不調を周囲の大人に知らせるようになる。
- 自分から、健康で安全な生活に気を付けて行動するようになる。
- 体と食物の関係に興味や関心をもち、食の大切さに気付くようになる。

		I 期 (4・5月)	II 期 (6・7・8月)
期のねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な活動に自分から関わり、友達と一緒に、体を十分に動かし、進んで運動しようとする</li> <li>○自分の体に関心をもち、健康な生活に必要な習慣を再確認し、安全に気を付けて活動する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分なりの目標をもって繰り返し運動遊びに取り組む</li> <li>○水遊びのきまりを守り、安全に気を付けて、友達と一緒に活動を楽しむ</li> <li>○梅雨期や夏季を健康で安全に過ごす</li> </ul>
教育的意図をもった働きかけ	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温かい触れ合いの中で、体を動かす心地よさを味わうことができるように、指導者や友達とルールのある活動を行うようにする <b>事例 35</b></li> <li>・バランス感覚を培うために、多様な動きが経験できるような遊具を用意し、いろいろな運動遊びに関心がもてるようにする</li> <li>・いろいろな遊具や用具等を使って、心や体をほぐすことができるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と遊具、用具を組み合わせたり、組みかえたりつくりかえたりして、いろいろな運動遊びに関心がもてるようにする</li> <li>・砂・土・水・泥等の感触を味わい、その特性を生かして遊べる環境を整え、存分に楽しめるようにする</li> <li>・全身で水の感触を味わい、水の抵抗や浮力にも気付くように働きかける</li> <li>・自分なりの目標をもって、水遊びを楽しめるようにする</li> </ul>
	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い、うがいの仕方や必要性を再確認し自分から進んで行えるようにする</li> <li>・「早寝、早起き、朝ごはん」の規則正しい生活が大切なことを再認識する機会をもつ</li> <li>・指導者や友達と安定した気持ちで過ごす中で、見通しをもち、自分なりにしようとする気持ちをもてるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汗の始末や衣服の調節等、身の回りを清潔にする心地よさを知らせる</li> <li>・丁寧な歯磨きが虫歯の予防につながることを知らせ、歯磨きの習慣が付くようにする</li> </ul>
	健康・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発育測定や健康診断を受け、自分の体の成長や、体の大切さに気付くようにする</li> <li>・危険な遊び方に気付き安全に活動できるように、必要なきまりや遊具、用具の使い方を丁寧に知らせていく</li> <li>・園所外の活動の際には、交通ルールやマナーについて繰り返し指導する</li> <li>・避難訓練を通して、災害時の適切な行動の仕方を再確認させ、危険から身を守る方法と意味を知らせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全にいろいろな水遊びが楽しめるように約束やきまりを再確認し、危険なときは注意し合うことができるようにする</li> <li>・夏を元気に過ごせるよう自分の健康に関心をもち、必要な活動を進んで行い、食中毒や熱中症の危険に気付かせる</li> </ul>
	食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者や友達と一緒にマナーを守り、楽しく食事ができるようにする</li> <li>・朝食の大切さを再確認し、体と食べ物に関心がもてるようにする</li> <li>・年間の行事を通して伝統的な日本の食文化を知らせる</li> <li>・箸の持ち方を確認し、正しい持ち方ができるようにしていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫の喜びを味わい、食べることに意欲がもてるようにする <b>事例 36</b></li> <li>・夏野菜の世話や収穫を通して、旬の食べ物が栄養、夏バテ防止等に役立つことを知ったり、関心をもったりできるようにする</li> <li>・身近な食材の役割について知らせ、バランスのよい食事について関心がもてるようにする</li> </ul>

## &lt;家庭との連携&gt;

- ・生活の中で、多様な動きをすることが、体力・運動能力を育て、さらには、社会性や創造性を育てていくことを知らせ、「1日60分以上」をめやすとして、保護者も共に体を動かすように働きかける。
- ・家庭での楽しい食事や健康な生活のための基本的な生活習慣の確立、特に「早寝、早起き、朝ごはん」を習慣付けることが、小学校以降の生活や学力向上に大きな影響を及ぼすこともあることを知らせる。
- ・危険な場所、危険な遊び方、いざというときの大切な行動を家庭でも知らせ、身を守ることの大切さを伝えるように働きかける。

Ⅲ期 (9・10月)	Ⅳ期 (11・12月)	Ⅴ期 (1・2・3月)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分なりの目標に向かって、進んで体を動かし、繰り返し挑戦する</li> <li>○友達と集団的な活動や遊びのルールを守って体を動かす中で、力を合わせる楽しさを味わう</li> <li>○自分や友達の健康に関心を持ち、運動遊び前後の体調に気を付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と考えを出し合いながら、遊びを工夫し根気よく取り組む</li> <li>○いろいろな運動遊びに挑戦し、自分なりの目標をもって取り組む</li> <li>○健康な体づくりのための基本的な生活習慣の大切さに気付き、自ら守ろうとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分なりの目標をもって挑戦し、戸外で存分に体を動かす</li> <li>○集団での活動の中で、友達との共通の目標をもち、力を合わせてやり遂げる喜びを味わう</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・存分に体を動かし、充実感や達成感を味わうために根気よく取り組む様子を認める <b>事例39</b></li> <li>・集団的な活動を通して、友達の刺激を受けたり、相談したり、力を合わせたりするなどの機会をもつ</li> <li>・全力で走る心地よさを味わえるようにする <b>事例38</b></li> <li>・ルールのある遊びを通して友達と遊びを工夫し、挑戦する楽しさを味わえるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と約束やルールを考え、遊具、用具を組み合わせて、体を動かす心地よさを存分に味わえるようにする</li> <li>・遊具、用具の特徴を捉え、操作しながら多様な動きを経験して、体の動きを調整できるようにする</li> <li>・体の諸機能の発達をめざし、伸び伸びと体を動かして遊ぶことにより、体の動きを工夫したり試したりできる環境を整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に向かって繰り返し挑戦できる環境を整え、達成した喜びが味わえるようにする</li> <li>・遊具、用具を巧に操作し、自信をもって体の動きを調整できるようにする</li> <li>・体の動きを工夫したり試したりして、複雑な運動にも挑戦する機会をもつ</li> <li>・自分の力で行動することで充実感が味わえるようにする</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムを整え、「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さに気付き、自ら生活リズムを整えようとするようにする</li> <li>・運動後の汗の始末や休息、水分補給、睡眠等の健康生活について関心をもてるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温に合わせて、自ら衣服を調節し、健康な生活に関心をもてるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体の成長を知り、心や体を大切に、健康な体づくりに関心をもてるようにする</li> <li>・就学に向けて、生活習慣を再確認し見通しをもって行動できるようにする</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで遊具、用具の準備や片付けをすることで、その特徴や安全な使い方に気付くことができるようにする</li> <li>・自分の身の回りを清潔に保ったり衣服を調節したりする大切さに気付くことができる機会をもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の健康な生活や病気の予防について再確認させる</li> <li>・登降園所時での交通ルールや安全について再確認し、自分の生活の中で気を付けて行動できるようにする</li> <li>・かぜ様疾患等の病気の予防について、丁寧な手洗い、うがいが効果的であることを知らせ、習慣が身に付くようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの環境に目を向け、危険な遊びや場所に気付き、進んで命を守る安全な行動ができるようにする</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・存分に体を動かした後の食事のおいしさや健康であることの喜びを、友達や指導者と分かち合えるようにする</li> <li>・収穫を通して様々な恵みに感謝の気持ちをもつようにし、おいしく食べられるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬野菜は免疫力を高め、元気で丈夫な体になることを伝え、進んで食べられるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の食べ物や伝統食に関心をもてるようにする</li> <li>・3つの食品群を活用して、いろいろな食べ物の役割について興味や関心を深め、学校給食に期待をもてるようにする</li> </ul>